

法政大学第一高等学校同窓会報

編集人 齊藤利彦 (同窓会広報委員長) (題字は山上校長)
 発行人 大石勝康 (同窓会会長) 2001年(平成13年)4月25日(水) [発行] 第26号
 発行所 法政大学第一高等学校同窓会 〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 TEL0422-20-8151
 印刷 社会福祉法人・東京コロニー 東京都大田福祉工場 発送管理 コミナミ印刷株式会社

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。

21世紀の幕開け 重要な付属校の教育展望

同窓会会長 大石勝康



二〇〇一年四月、21世紀の新年を迎え会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。
 昨年十一月二十六日に行われました学校主催の「第三回ホーム・カミングデー」に際しましては、高校十一期から二十期までのOB諸兄約二百名、並びにご退職なされた教職員十七名の先生方にもご臨席いただき、会場が狭くロビーにまで和気藹藹の懇親の輪が広がることが出来ました。皆様方のご協力に心から厚く御礼申し上げます。
 さて、法政大学は今、

が、多摩キャンパスには「現代福祉学部」が、小金井キャンパスには「情報科学部」が創設され、これらの新学部にも我が法政一高から大勢の卒業生が進学いたしております。そして今後の教学改革の焦点は、既存学部の改革と同時に私達の一歩の関心事でもある中学・高校・大学の一貫教育対策であり、本件が急務であります。
 評議員である山上校長先生は、付属校の改善と将来に向かつての発展策につき大変意欲的に活動され、私達付属校関係の評議員ばかりでなく他の評議員の方々からも賛同を得て「付属校政策プロジェクト委員会」

を充足することが出来ました。
 また先月行われました二〇〇一年度予算審議の評議員会議で「この予算案の中には付属校関係の予算がのっていないがどうしてか」との質問がでるなど、一般評議員の方々も付属校にたいする関心が高まっております。
 特に、一高の老朽化した校舎問題については早急に理事会での審議を粘り強くお願いしております。
 法政大学の教育理念を将来に向けて、さらに高度に展開するため、早急に中・高・大学の一貫教育の充実をはからなければならぬと思います。
 前にも申し上げましたが、これからは量より質の時代。中・高の質を高めて、その生徒を大学に送り込むことにより、大学で学生として中心的な役割をしっかりと展開し、付属校から来た学生達が、法政大学全体のレベルを押し上げるような役割を担ってほしいと思います。
 付属三校の教学面や課外活動の交流。大学との

新しい形での交流により、少子化で減少期の生徒対策を真剣に考えなければなりません。
 このような意味からも、我が同窓会の基盤をより一層確固たるものにしておかなければなりません。
 今後の同窓会の運営につきまして、昨年に引き続き地道に、次の事項の遂行をはかりたいと思います。
 一、組織の強化拡充(一昨年六年ぶりに「同窓会名簿」を改訂し六百名以上の方々の住所の解明と会員の掘り起こしが出来ました、ご協力ありがとうございました)
 二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(このところ会費のお振込みの際、五千元、一万円という多額のご寄付を頂き、深く感謝申し上げます)
 三、同窓会会報の定期発行と内容の充実(皆様のご協力により記事も多くなっておりますが、まだまだ各クラス会、各部のOB会などの情報が少ないので、どんなに少人数の集会の情報でも結構です、お寄せください)
 今後もさらに同窓会発展のため努力いたす所存でございます。会員の皆様のご理解とご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。

同窓会クラス委員総会 開催のお知らせ

平成十三年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。ぜひご出席をお願いいたします。
 日時・平成十三年六月二十日(水)
 午後六時半開会

場所・法政大学市ヶ谷新棟
 ボアソナードタワー25階B会議室
 会費・三千元(当日受付・軽食用意します)
 卒業後四年以内のクラス委員は無料です。

議題・平成十二年度事業報告、決算案の件
 平成十三年度事業計画、予算案の件、その他
 委員の方は、出欠を同封のハガキにて五月三十一日必着でご投函願います。

同窓生の輪に

期待する

一中・高校長 山上英男



年度中には「答申」が出されます。

正直なところ、これまでの大学は「付属を必要とする」という政策・理念を打ち出せないできました。

卒業生が「自慢できる『我が母校』法政一中高」の展開こそ、私が今いちばん願っていることです。

二十一世紀に注目される学校として、我が校は今後どのような教育を展開し、またどのような教育環境を整えていくのか、真剣に検討を重ねているところです。この数年、大学と付属との連携はたいへん深まっています。その要因は、①少子化による大学の就学者人口の減少②付属校生の学力の向上③付属の財政的安定などがあげられます。そうした中で「付属校政策プロジェクト」も設置され二千

だいてきました。さらにまた、我が一高を卒業された杉浦 隆(昭二〇卒)、大石勝康(昭三三卒)、金子泰造(昭三三卒)、河端照孝(昭三四卒)

の方々が、現在、法政大学校友として監事・評議員を務められ、一中高の発展に力を貸して下さいます。心強い限りです。卒業生の子弟が入学して

一中・高現況報告

運営委員会 豊田雄大

二十一世紀を迎え、これまで培われてきた法政一中高の歴史と伝統を受け継ぎ、私も教職員は、山上校長の下、さらなる発展を目指して努力していく所存でございます。これまで以上に卒業生の皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願

い申し上げます。以下、一中高の現況を報告させていただきます。

新しい時代の

法政大学と一中高

二〇〇〇年に創立一二〇周年を迎えた法政大学では、一昨年度に国際文化学部と人間環境学部が、昨年度に代福祉学部と情報科学部

きたときの喜びもまたひとしおです。母校への誇りと愛着が子弟に伝えられているのが嬉しいのです。そして学年やクラスの同窓会、クラブのOB会が盛んであることは、学校を活性化させます。

ますます同窓の輪を広げ「卒業生が自慢できる学校づくり」に、ご協力を賜りたいと願います。

が開設されました。さらに今年度は、経済学部国際経済学科が開設され、十学部二十五学科を有する総合大学となりました。

こうした大学の動向は、本校においても生徒の進路選択において幅が広がるなど多大な影響を与えております。また、ここ数年、大学への推薦関係を中心に、付属三校と大学との連携が進んできており、その結果、

二〇〇一年度の高校三年生からは、二学期までの成績により法政大学への推薦が決まり、年内に推薦学部・学科が内定することになりました。

ホームページ開設

同窓会活動もインターネットを介しての活動に発展させて参りたいと考えています。総務・広報・組織(名簿)の刷新、役員若返りを図りたくせ

募 集

一高同窓会

TEL 04-22-20-8151
E-MAIL hosei-1st-ni-obumvb.biglobe.ne.jp
URL http://www5b.biglobe.ne.jp/~Hosei10B/
上記アドレスへ皆様のアドレスをお知らせ下さい。登録とともに最新情報をお届けします。

活躍目覚ましい

硬式野球部、ラグビー部

硬式野球部は七月に行なわれた夏の全国高等学校選手権西東京大会において、シード校の国学院久我山高を破りベスト四に輝きました。ラグビー部は、四月に行なわれた関東大会東京都予選でベスト六に入り、六月の関東大会出場を果たしました。また、全国大会(花園)予選東京都第一地区大会では、第三位に輝きました。

盛会だったホームカミングデー

第三回ホームカミングデー

を十一月二十六日(日)に開催いたしました。二部の一期から十一期の方と十一期から二〇期の方をご招待しました。当日は、懐かしい教職員一四名と卒業生一六五名の方々にご出席いただきました。セレモニーでは、上映されたビデオ『彼の日』を見て、懐かしい高校時代を思い出し、パーティーでは、恩師を囲んでの昔話に大いに花が咲きました。本年度は、十一月二十五日(日)に二十一期以降の方々をご招待する予定です。詳しい案内は、後日送付いたしますのでそちらをご覧ください。

特別授章者紹介



倉澤豊丸氏 (旧中一期卒業) 元同窓会会長

◎勲五等瑞宝章



熊田亨氏 (商業二期卒業) ペンネーム藤村信 中日新聞社

◎日本記者クラブ賞

(平成12年5月26日授賞)

◎ボーン・上田記念国際記者賞

(平成12年5月26日授賞)

高まる付属校への関心
法政大学評議員会報告
評議員会議長 大石勝康

(平成12年)
4月7日 法政大学第一中・高等学校入学式
役員3名参加
4月25日 同窓会会報25号発行
5月24日 東儀弥彦元教諭(国語)永眠
6月7日 クラス委員総会、ポアソナードタワー25階B室 41名参加
6月17日 倉澤豊丸叙勲祝賀会 元同窓会会長・元PTA会長・元PTAOB会長
6月29日 黒沢元孔(高3期)同窓会副会長(広報)永眠
7月24日 小林真能元

教諭(生物)永眠
8月21日 法政大学校友会増田氏より一本化要請説明
大石会長・鈴木副会長同席
9月18日 ホームカミングデーの打ち合わせ 大石会長・鈴木副会長・中島総務委員長・斉藤広報委員長
9月30日 法政大学創立120周年祝賀会 新高輪プリンスホテル
11月26日 法政一高ホームカミングデー 二部・高10期く20期生参加
(平成13年)
1月17日 同窓会役員新年第一回会議・新年会、会報用の原稿を依頼す
2月17日 法政大学付属校同窓会役員懇親会(幹事校

法政工業校 15名参加
川崎
3月2日 長島和太郎元教諭(生物)永眠
3月9日 新卒クラス委員12名に同窓会への協力説明会 大石会長・鈴木副会長・中島総務委員長・斉藤広報委員長・朝井名簿編集委員長
3月10日 法政大学第一高等学校卒業式270名 精勤者21名に吊り時計贈呈
会報作成用のパソコンソフト購入、会報編集会議、同窓会ホームページ作成準備
3月22日 URL取得

平成12年度事業報告書

総務委員長 中島 康孝

法政一高同窓会 平成11年度収支決算書

Table with 5 columns: 科目, 項, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 繰越金, 会費, 雑収入, 繰入金, 計.

Table with 5 columns: 科目, 項, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 経常費, 事業費, 予備費, 小計, 次年度繰越金, 合計.

法政一高同窓会 平成12年度収支予算書

Table with 5 columns: 科目, 項, 予算額, 内訳, 備考. Rows include 繰越金, 会費, 雑収入, 繰入金, 計.

Table with 5 columns: 科目, 項, 予算額, 内訳, 備考. Rows include 経常費, 事業費, 予備費, 小計, 次年度繰越金, 合計.

シリーズ 活躍する一高OB〔2〕 医療最前線



写真II前列左から
小俣二也氏、山上校長
後列左 筆者

団塊

の世代真っ盛りの昭和36年本校中学に入学し、3年間の担任は現校長の山上英男先生でした。12歳を過ぎたばかりの子が、当時は今よりもずっと不便だった中央本線の大月から通学していることに、クラスメイトは皆驚いていました。

小俣二也氏は

当時理工系進学希望者のBコースに進学し、卒業は42年、第19期の卒業でした。その後医学を目指して努力を重ねた結果博士号を取得し、現在では御両親と子供さん達に囲まれて、大月市において医療法人社団「富士厚生会」の理事長をされています。

ここまでは

有床クリニック・眼科専門クリニック・在宅医療の他、老人保健施設「ももくら」、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等を運営し、医療・福祉の総合的な地域サービスを行っています。県内でも模範的な施設として見学者が訪れています。
〔取材II能登暁・高19期〕

教職員人事異動

◇退職

飯郷 茂 先生

今年度は、社会科の飯郷先生が、めでたく定年を迎えられました。長年のご苦労に対し心より労いの言葉をおかけしたいと思います。

先生は、昭和36年に東京トヨペット株式会社を退職された後、昭和38年に本校の社会科専任教員になられた、異色の経歴をお持ちでございます。

温厚な人柄と優しい笑顔で生徒たちから慕われており、引退を惜しむ声が多々ございます。また、ここ7

年間、PTA委員会の代表をなされていた関係で、ご父母の皆様からもとても信頼されています。

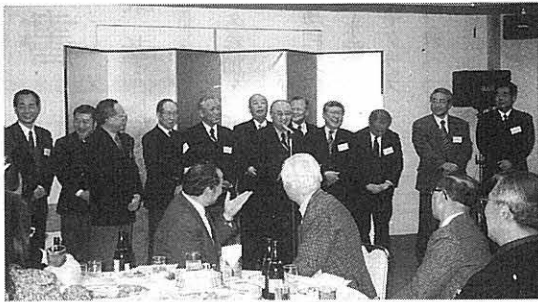
学校に残されるお言葉が何かございますか、とおたずねしたら、「運鈍根」というお答えをいただきました。

教職への転職の際、お父さんに相談されたとき、「おまえのような鈍才は、一つのことを根気よく続けるべし。あとは天に委ねよ。運とはそういうものだ。心して行け。」と言われたそうです。

第16回法政大学付属校同窓会役員懇親会

第16回法政大学付属校同窓会役員懇親会は、第一工業高同窓会が幹事校で平成13年2月17日カメラアホール(川崎駅ビル)で開催されました。

当日は、二高・女子高・一高の各校長先生も出席され、これからの付属校の役割、各校の現況などについてお話しをいただき、続いて各校の同窓会会長による近況報告と役員との紹介などがあり、各校入り交じったテーブルで和やかな歓談が続きました。



当日の出席者(敬称略)

法政大学第二高=遠藤校長、上村会長以下、岡田、山下、小宮、間宮、原、太田、田島
法政大学女子高=谷上校長、近藤会長以下、三浦、菊地、石崎、大関、小笠原、人見
法政大学第一工業高=田中会長以下、中村、鈴木、奈須野、岸、菅田、直井、菊地、羽原、宮本
法政大学第二工業高=徳原、遠藤、庄司、田所
法政大学第一高=山上校長、大石会長以下、鈴木、川城、中島、檉原、朝井、齊藤、室山、泉、佐藤、飯塚、能登、手塚、萩原
総計46名の方が出席されました。

異動・新任

爾来、「呪縛の下、もがき続け定年を迎えた」と、ご本人は謙虚に述べられておりましたが、これを「あきらめずに粘り強く頑張れ」という励ましのお言葉と受け止め、私達教職員一同、精進努力していく所存でございます。

(運営委員会代表 森田勉)

◇校長

山上英男 一中高校長が4月1日付で女子高校長兼任となりました。

◇副校長

森田 勉 先生が4月1日付で副校長に就任されました。

◇教員

今年度は、5名の優秀なフレッシュマンを迎えることになりました。

林 圭介 先生(国語)
成城大学大学院修了

石川秀和先生(社会)
法政大学卒業

坂田史明 先生(数学)
信州大学卒業

功刀康久 先生(英語)
法政大学卒業

木村 越 先生(英語)
法政大学卒業

◇職員
総務係主任の和泉文代さんが小金井事務部に転出し、後任に学務部より

前島多恵子さんが転入されました。(4月1日付)

二〇〇一年度入試を終えて
入試委員会 上原伸一

二〇〇一年度入試は、一月二十二日の高校推薦入試を皮切りに、二月三日の中学入試、二月十日の高校一般入試と順次行われました。

急激に進む少子化の影響や長引く不況、さらに公立学校の巻き返し策など私学全体を取り巻く環境は今年も好転せず、非常に厳しい状況が続いています。

そのような状況の中ですが、今年度も本校では中学・高校とも受験者数の減少は見られず、比較的安定した中で入試を行うことができました(表一参照)。

特に今年は、高校推薦入試で、出願しやすい制度とし、さらに面接試験を実施するといった制度変更を行いました。その結果の詳細については現在調査・分析中ですが、推薦受験者数が大幅に増加し、一般入試でも受験者が増加したことを考えると一定の成果を得たと考えます。

またここ数年の入試の特徴としては、特に中学入試

何よりも一番効果が大きいのは、友人・先輩といった身近な卒業生や在校生から薦められるというケースです。受験時に提出してもらっているアンケート結果などからも、これらのことは明らかになってきています。このような最近の動向を受けて、数年前から『在校生・卒業生子弟を大切にしたい入試』も始めています。そういった意味で、これからは是非一人でも多くの『法政ファン』を作るために、同窓生諸兄におかれましては、ご指導、ご鞭撻、ご協力のほどをお願いしたいと思えます。

で、合格者の中に占める入学生続者の割合(定着率)が高くなっているというところがあげられます。これは、受験生一人あたりの受験校数が減ってきているということも理由としてあげられますが、本校を第一志望で受験している生徒が増えてきているということが理由だとも考えられます。

第一志望の生徒をより多く確保するために必要なPR活動や広告・宣伝は、これからも積極的に行っていく予定です。雑誌やインターネットなどさまざまな媒体を利用していくのは当然です。

法政一中・高 教養文化講座のご案内

『学ぶことが喜びとなるのは、新鮮な驚きと出会ったときや技術が上達していくときです。そうした驚きの心を持つ人、技術の向上に喜びを感じる人は、つねに精神的な若さを保っているのではないのでしょうか。』

この講座はそうした人たちに気軽に参加していただくための成人向広場です。』

講座説明会 平成13年5月26日(土)
午後2時 記念会館ホール
教養講座事務局
TEL 0422-20-8151

表1 2001年度中高入試状況

2001年2月28日現在			
中 学			
募集定員	105		
出願者数	522		
受験者数	419		
合格者数	161		
入学予定者数	118		
高 校			
推 募集定員	73		
薦 出願者数	98		
受験者数	98		
合格者数	73		
一 般	募集定員	74	
	出 願 者	Aコース	137
		Bコース	198
		Cコース	10
		合 計	345
	受 験 者	Aコース	118
		Bコース	196
		Cコース	6
		合 計	320
	合 格 者	Aコース	37
Bコース		75	
Cコース		2	
合 計	114		

表2 2001年度 法政大学推薦学部・学科別一覧

学 部	学 科	人 数			学部計
		第一部	第二部	計	
法	法律	31	7	38	48
	政治	10		10	
文	哲	3		3	26
	日本文	7		7	
	英文	4		4	
	史	5		5	
	地理	4		4	
	教育		3	3	
経済	経済	10	6	16	23
	国際経済	7		7	
社会	社会政策	10	4	14	28
	社会	14		14	
経営	経営	50		50	50
国際文化	国際文化	11		11	11
人間環境	人間環境	11		11	11
現代福祉	現代福祉	4		4	4
工	機械工	6		6	46
	物質化	2		2	
	電気電子工	7		7	
	電子情報	8		8	
	システム制御工	4		4	
	土木工	3		3	
	建築	7		7	
	経営工	9		9	
情報科	コンピュータ科	5		5	10
	デジタルメディア科	5		5	
計		237	20	257	257

卒業予定者 270名 2001年2月19日現在 学務係

HOSEI だより

一中・一高・校内情報

文武両道をめざす一中・高生は相変わらず明るく元気です。

O Bの皆さんもプラタナス祭、ホームカミングデー、対外試合の応援等でいしょに校歌を歌いましょう。

弓道部

法政一高弓道部は現在部員数七名、都高体連公式戦の団体戦にやっと出場できるだけの少人数クラブです。

年によつては一学年で十名以上という時期もありましたが、近年は少人数に甘んじています。

こんな現状ではありません

ぼくたちプラスバンド部は中高合同にて活動を行っています。中学生と高校生だとやはり年齢に幅がありいろいろと大変ですが、中

プラスバンド会

が、法政一高弓道部には誇るべきものがいくつもあります。一つは、本年度で創部四十周年を迎えた歴史です。創部以来、西荻北にある吉田道場にお世話になっていきます。そして二つ目は、道場にかよっているが故に、練習のある月曜日から木曜日は必ず制服を着用し、道場には社会人の方も少なくありませんので挨拶は勿論のこと人格的にも高潔であること?を求められることです。弓道はあくまでも武道であるということです。

とはいえ、最近はその気質もずいぶん様変わりしました。かつてはシゴキ的な練習?もあつたように思いますが、今は上級生下級生の区別もあまりなく楽しみながら練習をしているようです。

部長 5年5組 鈴木

学生も楽しく部活に参加できるように心がけています。部員数は28人で中学生が7人、高校生が21人となつていきます。活動は主に月・水・金・土に記念会館の地下で行っています。

基本的な活動方針としては、まず音楽を楽しむことが一番だと考えています。あとは限られた時間の中でどれだけ集中して練習し自分の技術をどれだけ伸ばせるかなど考えながら活動しています。

一年間の活動としてはまず入学式での演奏、夏には野球応援にいきました。今年度は野球部の皆さんががんばってくれたおかげで神



宮球場にて演奏する事が出来ました。そして高校三年生の最後の舞台である定期演奏会を8月に行い、先輩達を送り出しました。

ぼくたちが最上級生になつて最初の行事であつた文化祭では法政女子高との合同にて演奏会を行いました。年のしめくりには部内でアンサンブルコンテストを行い、個人のレベルアップや少ない人数での責任などいろいろ勉強する事ができました。

今後の予定としては、入学式での演奏、そしてわが部としては何十年かぶりに吹奏楽連盟主催の吹奏楽コンクールに出場予定です。

硬式テニス部

我が法政一高硬式テニス部は「この一球」の精神のもと、三年生十九人、二年生九人、計二十八人で、春の団体戦に向けて、日々練習にはげんでいます。今年にはレギュラー八人のうち、三年生が四人、二年生が四人とレギュラーの半分を二年生がしめていて、二年と三年の力の差がひらいてなく、いい意味でお互い刺激しあつて練習に打ち込んでいます。

この前行われた夏合宿は、最初の頃はまとまりが感じられない状況でしたが、最後には皆まとまり、無事成功に終わることができました。

今年行われる春合宿は、春の団体戦に向けて、部のまとまりと結束を強め、個人個人のレベルアップを目標にやっつけていく予定です。先輩方も合宿に参加していただければ、一高テニス部の全体のレベルアップにつながります。ぜひ日程が合いましたら、合宿に参加して頂けるよう、部員一同



心から願っています。

今年のレギュラーは草トナメントで優勝した者や、期待の新人など、先輩達が残してくれたベスト三十二という壁を壊すことのできるメンバーがそろっている。今年こそはベスト十六以上を目指し、この一球の精神のもと、部員一同がんばっていききたいと思いません。

硬式テニス部
主将 宮沢祐一

硬式野球部

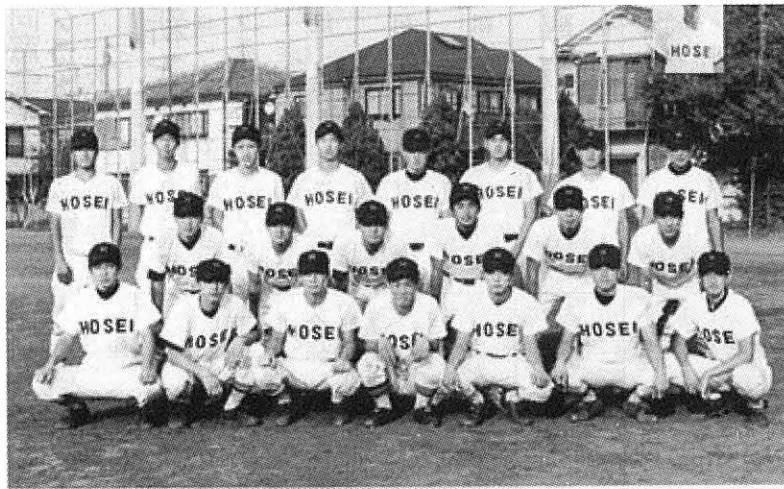
平成12年度、硬式野球部は高校1年生から3年生までの部員、計77名、顧問2名、コーチ3名で、激戦区の東京都西東京大会を戦うこととなりました。

ノーシードからの挑戦でしたが、順調に勝ち上がり、五回戦では優勝候補の筆頭と言われた日大三高と激突。打撃戦を制して準々決勝へと進出しました。このときのチームには勢いがあり、負ける気がしなかったといっても過言ではありません。

準々決勝では國學院久我山との投手戦を制し実に16年ぶりの準決勝進出、神宮球場の土を踏む「ひとこと」となりました。相手は第一シード、百戦錬磨の東海大菅生。悲願の甲子園を目指して最後まで戦いましたが、健闘虚しく敗れました。選手達は泣きまじりました。泣きに泣きましたが、心は晴れ晴れとし、胸を張って母校に帰ることができました。

甲子園まであと一歩 西東京大会ベスト4

神宮で涙のむ



第82回全国高校野球選手権西東京大会ベスト4

この夏、学校全体がひとつの気持ちになった、とても熱い夏でした。

秋の新人戦では、ブロック決勝までの健闘を見せました。確かな手応えと、これからの課題をしっかりと見据え、硬式野球は次の夏、再び甲子園を目指します。

この場をお借りして、ご声援を賜った皆様に厚く御礼申し上げます。

軟式テニス部

現在、

部員数は26名。硬式テニス部ができた時には、もっと減るかときどきしていたのですが、そうでもありませんでした。

生徒が自主性を発揮して活動運営にあたっていますので、活動状況は年によって多少変化しますが、こ

がうちの部のいいところだと考えております。特に強力な選手養成に力を入れて

いるわけではないので、目立ったスーパースターはいませんが、先輩・後輩の上下関係にうるさいことも全くなく、ゲームの順番もじゃんけんできめたりしながら、みな和気あいあいと声を掛けあって楽しく練習に参加していることが、本校の軟式テニス部の特徴でしょう。戦績という点では昨年度はあまりふるわなかったのですが、春休みに入ろうとしている今日の練習を見ると、部員達の体の切れはなかなかよく、来年度は戦績の面でも期待できるかな、と密かに(と言っても、ここに書いてしまいました)考えているところです。

文責・顧問 三宅 進

バレーボール部

高校バレーボール部は、部員二十三名で活動しています。練習は清水先生のもと、厳しく行われていますが、一年生・二年生ともに協力しあって練習に励んでいます。練習以外では、と

でも明るく楽しい雰囲気です。やっています、そのかいあって去年の夏には関東私学大会に出場し、今年に入ってから新人戦で早高院をくぐり、ベスト十六になりました。

最近行われた私学大会では、帝京八王子に勝ってベスト八まで残りました。今後は関東大会を目指して頑張っていくつもりです。応援よろしくお願いします。

中学バレー部は、二年生がチームをまとめるようになってから半年たった最近ようやく、チームワークができてきたように思います。去年秋の新人戦では、個人がバラバラで、みんなを協力しながらチームの弱点を補うことができず、チームメイト同士の喧嘩がたえませんでした。今年に入ってから、キャプテンを中心に、お互い声を出し合うなどの協力していく姿勢が見え始めました。練習試合でも、チーム一団となって相手に挑むことができるようになり、チーム初めての勝利を得ることができました。今度は都大会への出場に向けて頑張っていきたいと思っています。

水泳部

私達水泳部は年度末を迎え、慌ただしくなっておりますが、めげることなく活動しております。

二〇〇〇年度の水泳部は顧問の入れ替わり等で慌ただしい時期もありましたが、全く影響なく、今まで通り、それ以上に練習に励むことができましたのではないかと思います。また、練習メニューを作成するのに手間取って練習開始が少々遅れ、終了予定時刻を過ぎてもやっているとという状況がしばしば見られました。冬期練習でも大半の人がさぼる事もなく、真面目に練習をやっていたと思います。そして昨年はウェアを作成しました。私達が自主的にデザインを考え、討論し合って作成しました。学校の自主・自律の校風にもある様に、自主性が育てられた結果がここにも表れているかと思えます。この様に今年度は全体的に評価できる部分が多かったのではないかと思います。この良い部分は今後さらに

伸ばしてゆき、悪い部分は修正して行きたいと思っております。

来年度に向けて、基礎固めをしている最中です。部員には目標を持つてもらい、その目標を達成するために、練習を重ねていってほしいと思います。

その為に私も最大限努力して部員の手助けをしていけたらと思っております。最終目標はインターハイ出場です。

部長 後町佳宏

同窓会(高53期) クラス委員一覧

新入会された高校

53期の方たちの、同窓会クラス委員が左記のように決定しました。

- 1組 竹原 秀俊
- 2組 森田 智哉
- 3組 永瀬 潤
- 4組 松成 和久
- 5組 井上 博也
- 6組 乗竹 亮治
- 7組 秋山 裕康

- 5組 須永 隆史
- 6組 関 晴允
- 7組 廣島 卓郎
- 8組 宇田川昌弘
- 9組 米久 哲平

住所、勤務先の変更、改姓名等がありましたら、必ず学校の同窓会係(住所・電話番号は1面タイトル下に掲載)へハガキ等にて連絡ください。

また、本年6月より同窓会ホームページの「変更届のページ」よりアンケート

形式で簡単に届け出が入れられますので、こちらでもご利用ください。



黒澤九孔(高3期) 平成十二年六月二十九日永眠されました。同窓会副会長(広報委員長)として永きにわたりご尽力下され、多大なご活躍とご功績をのこされました。ここに感謝を申し上げ、ご冥福をお祈り致します。

今年度で53回目を迎えたプラタナス祭は、例年より若干早い、9月と10月をまたぐ30日(土)、1日(日)の両日に開催されました。多くの家族連れを始め、幅広い層の来校者が訪れ、学内の活気が様々に表現された二日間でした。

持ち前の発想力を活かした中学生は、昨年各方面に反響を呼んだ『空き缶壁画』に引き続いての巨大企画『ドリームバルーン』で、中庭に虹色の風船橋を架けたり、教室内にプールを作って、本物の鯉を泳がせた『サカナレース』で盛り上がりたりと、三年生を中心に斬新な企画が目白押しでした。またチャリティーバザーでも『火山』をテーマにレポートをつくって、災害救援への理解をお願いするなど、多様に文化的な活動・活躍をアピールしてくれました。

『第53回プラタナス祭にて』

高校生は、よりきめ細かく、学年ごとに施された廊下装飾や、綿密に作られた教室内の装飾が目を引きました。体育館、中庭に作られた舞台では初日、二日目ともに、大型企画でお客さんに楽しんでもらおうと奮闘していました。プラスバンド、演劇、ギター、軽音楽をはじめとした各文化部も、それぞれの日常の活動の一つの集大成を各会場で存分に披露していたようです。

全体を見渡してみると、生徒は、近年のプラタナス祭の伝統や傾向にイメージを重ねて、ある程度の「型」を自分達自身で見出だしているように感じられます。次年度以降も、半世紀以上に渡る伝統をしっかりと受け継ぎながら、さらなるフロンティア・スピリットを注ぎ込んで、新しい、21世紀のプラタナス祭を創造できるように成長して欲しいところです。

(文責 生徒委員会代表/国語科 岩井 歩)

編集後記

▲会報をお一人で作成されていらした黒澤副会長の急逝で、突然お鉢が廻ってきた会報作りですが、下澤事務長、森田先生、その他の関係者のご協力で発行に漕ぎつきました。改めて御礼申し上げます。▲会報は文集など違い記事がページをまたげず、記事の追加訂正などによる割付作業で苦労しました。しかしながら編集ソフトの導入によりどうにか乗り切りました。▲昨年度、豊富な経験をとり入れ編集してこられた黒澤副会長の偉大さに改めて合掌。(斉藤)